

2016年度（平成28年度）

重点政策

【実績まとめ】



託されたばら
プロジェクト
100年
今までもこれからも
PASS THE ROSE FUKUYAMA

夢・未来 輝く福山 100周年

福山市

2016年度（平成28年度）重点政策一覧（目次）

（単位：千円）

柱立て	施策名	分野					事業費 決算額 (再掲分含む)	内訳		ページ
		教育	環境	活力	福祉	安心 安全		決算額	再掲分	
市制施行100周年記念事業の推進				○			171,451	171,451		1
未来につなぐ施策 ～新たな成長戦略～	人口減少社会への対応			○	○		442,662	402,040	40,622	3
	連携中枢都市を核とする新たな広域連携（連携中枢都市圏構想）	○	○	○	○	○	191,874	180,949	10,925	5
	協働の更なる深化			○			123,113	51,337	71,776	7
	世界に誇れる「ばらのまち福山」の実現			○			88,389	75,901	12,488	8
	福山駅周辺の中心市街地の魅力の創出			○			44,115	25,157	18,958	9
	自然と環境にやさしいまち		○	○			170,272	162,151	8,121	10
	いつまでも健康に過ごせるまち	○		○	○		167,466	143,735	23,731	11
	次代を担う人材育成	○				○	3,607,187	3,607,187		12
小計	9件						4,819,908			
文化財の保護と活用	歴史文化の継承	○		○			90,491	90,491		13
鞆地区の再生・活性化	鞆地区まちづくりの推進			○		○	493,512	405,866	87,646	14
都市ブランドの創出と発信	都市ブランド戦略の推進			○			41,167	35,667	5,500	15
	戦略的な観光振興			○			17,810	1,898	15,912	16
地域の活性化	総合体育館等の整備			○			380,777	380,777		17
	産学官連携の推進			○			23,084	23,084		18
	スマートIC（インターチェンジ）の整備			○			310,491	310,491		19
	活力とにぎわいあふれる港づくり			○			7,800	7,800		20

柱立て	施策名	分野					事業費 決算額 (再掲分含む)	内訳		ページ
		教育	環境	活力	福祉	安心 安全		決算額	再掲分	
市民の安心・安全の確保	消防・救急体制の整備					○	205,095	205,095		21
	良質で効率的な医療提供体制の確立					○	6,201	6,100	101	22
	防犯環境の整備					○	25,579	25,579		23
	歩道・自転車走行空間の整備		○		○	○	292,435	292,435		24
	空家等対策					○	10,620	10,620		25
災害に強いまちづくり	上下水道施設の耐震化					○	274,840	274,840		26
	市街地の浸水対策					○	333,729	333,729		27
小計	15件							2,404,472		
合計	24件							7,224,380		

〇〇〇〇〇〇〇〇〇(決算額: 千円)

(うち, 再掲分 千円)

担当課: 〇〇局〇〇部〇〇課

【概要】

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

【成果】

○決算額
 決算額は、前年度から繰り越した事業費の決算額と当年度事業費の決算額の合計を表示しています。

○再掲分
 他の施策に掲載されている事業のうち、当該施策に関係があるものについては、「再掲分」として決算額を計上しています。

市制施行100周年記念事業の推進(決算額:171,451千円)

担当課：総務局総務部総務課

【概要】

市制施行100周年という大きな節目を、市民の皆さんや福山にゆかりのある方々と喜び祝うとともに次の100年に向けたスタートとするため、「市民全員参加」と「100万本のばらのまち福山」の実現を目標に「オール福山」で記念事業を推進しました。

～主な事業～

記念式典 記念イベント

○福山市市制施行100周年記念式典

開催日 7月1日
開催場所 ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ
参加者数 約1,800人

○第2回福山博覧会

開催日 7月2日・3日
開催場所 中央公園・まなびの館ローズコム
参加者数 約31,000人

○記念コンサート「帰ってきたSAMURAI世良公則ライブ」

開催日 7月3日
開催場所 福山城公園天守閣前広場
参加者数 2,435人



市民提案型 イベント

○夢・未来100ものがたり～つなげようローズマインド～

団体や事業者が実施するイベントを市内各所で開催
59事業 参加者数 159,912人



都市間 連携

○親善都市岡崎市市民交流事業

「岡崎城下家康公まつり花火大会市民交流ツアー」
開催日 8月6日・7日
開催場所 岡崎市
参加者数 40人



地域まちづくり イベント

○「芦田川を守る日」全市ピカピカ大作戦

開催日 6月5日
開催場所 市内全域
参加者数 41,227人



○神辺地域フェスタ

開催日 9月25日
開催場所 かなべ市民交流センターほか
参加者数 約6,000人

○フレンドリーピックまつながカーブチェア

開催日 4月30日・5月1日
開催場所 西部市民センターほか
参加者数 約12,000人



○市花の交換

市制施行100周年を記念して尼崎市・岡崎市・福山市の3市による市花の交換セレモニーを実施



◎第11回 全国都市改善改革実践事例発表会

BINGO!! 福山カイゼン博覧会～届けようカイゼンマインド～

開催日 2月17日
開催場所 広島県民文化センターふくやま
参加者数 440人



歴史・文化
・音楽、
スポーツ

○第74期名人戦七番勝負 第4局

開催日 5月25日・26日
開催場所 福寿会館、広島県立歴史博物館
参加者数 960人



○ギネス世界記録®町おこしニッポン「世界記録に挑戦」

開催日 5月21日
開催場所 緑町公園
参加者数 1,092人



○市制施行100周年記念映画
「探偵ミタライの事件簿 星籠の海」公開
全国公開 6月4日
観客動員数 159,158人

○新作能「福山」初演会

開催日 7月16日
開催場所 ふくやま芸術文化ホール
参加者数 1,605人



○開運！なんでも鑑定団

「出張！なんでも鑑定団in福山」公開収録

開催日 9月4日
開催場所 神辺文化会館
参加者数 826人
鑑定応募件数 596件



観覧応募件数 5,715通

○英国ロイヤル・バレエ団「ジゼル」

開催日 7月6日
開催場所 ふくやま芸術文化ホール
参加者数 1,433人

○鞆支所・鞆公民館

かなべ市民交流センター
業務開始 7月4日



未来へ
つながる
取組

○夢・未来プロジェクト2016

応募件数 個人172件・グループ42件
プレゼン大会（最終審査）
実施日 8月6日
実施場所 ふくやま芸術文化ホール
参加者数 約300人



○歌でつなぐ 夢・未来プロジェクト
「みんなで歌う合唱曲」の披露

○21世紀の朝鮮通信使・鞆～日東第一形勝の舞台からユネスコ記憶遺産へ～
日韓トップ囲碁対局・鞆 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流福山大会

開催日 3月11日・12日
開催場所 福山市鞆町・福禅寺対潮楼ほか
参加者数 5,330人



○福山の美術100年展

—福山ゆかりの美術家たち—

開催日 3月17日～26日
開催場所 ふくやま美術館
参加者数 約4,000人



○100周年記念スペシャルパレード

開催日 8月14日
開催場所 緑町公園ほか
参加者数 約30,000人

広報・PR

○ローズセレブレーションwithニコライ・バークマン

開催日 11月23日
開催場所 福山ニューキャッスルホテル
参加者数 240人

○FUKUYAMA100TH×ROSES. Charity Art Exhibition

開催日 3月18日～20日
開催場所 エフビコRiM、天満屋福山店、アイネスフクヤマほか
参加者数 約3,000人



- 福山市制施行100周年記念誌
- 福山市市制施行100周年記念映像
- まんが「福山を知ろーせ」第4集 まんが物語 100年物語
- 福山市市制施行100周年記念事業記録誌

記念
出版・映像

【成果】

○2015年（平成27年）に開始したプレイベント及び100周年事業では、全156事業を実施しました。約75万人という多くの方々に参加し、100周年記念事業の目標である「市民全員参加」と「100万本のばらのまち福山」を実現することで、「ふるさと福山」への愛着と誇りを高める機会とすることができました。

人口減少社会への対応(決算額:442,662千円)

(うち、再掲分 40,622千円)

担当課：企画財政局企画政策部企画政策課
経済環境局経済部産業振興課
市民局まちづくり推進部男女共同参画センター ほか

【概要】

全国的に急激な人口減少社会を迎える中、本市においても2040年（平成52年）には現在の人口から約8万人減少すると予測されています。こうした社会環境の変化を踏まえ、待機児童ゼロなどに代表される充実した保育サービスや子育て支援など、本市が中核都市として培ってきた強みを生かした人口減少への対応を行いました。

【2016年度（平成28年度）に取り組んだこと】

生み・育てやすいと思えるまち

(1) 結婚・妊娠・出産の支援

- ・若者交流の支援（婚活の支援）
交流イベントの実施（実施回数 3回，参加者数 延べ116人）など
- ・不妊治療への助成
一般不妊治療に要した治療費を助成（助成件数 534件）

(2) 子育て支援

- ・就学前施設の整備
福山市立大学附属こども園新築工事（2018年度（平成30年度）開園予定）など
- ・5歳児発達相談
88施設（幼稚園，保育所など）で実施
- ・乳幼児の県外定期予防接種費用の助成（助成件数 183件）
- ・ふくやまワーク・ライフ・バランス認定・表彰制度
認定 54者，表彰 2者

自然減
の
抑制



【福山市立大学附属こども園完成イメージ】



【ふくやまワーク・ライフ・バランス認定・表彰】

社会減
の
抑制

住んでみたい・住み続けたいと思えるまち

(1) 移住・定住の促進

- ・若年者の就職支援
大学生による企業取材（取材企業数 5社，取材学生数 20人），企業見学会（見学企業数 6社，参加学生数 91人）など
- ・移住・定住対策
びんご移住体験ツアーの実施（参加者数 9組20人）など



【びんご移住体験ツアー】

地域経済
の
活性化

働いてみたい・働き続けたいと思えるまち

(1) 中小企業イノベーションの推進

- ・中小企業支援の拠点整備（福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz（フクビズ））

開設日 2016年（平成28年）12月6日，相談件数 367件

(2) 人材育成

- ・ものづくり大学の創設（テーマ別に講座やイベントを開催）
学びなおし：20講座 167人，最先端：11講座 509人，
啓発・PR：10イベント 15,608人

(3) 第一次産業の活性化

- ・6次産業化の推進
新商品開発に係る施設整備などに対する補助 4件

福山ビジネスサポートセンター
Fuku-Biz



【福山ビジネスサポートセンター
Fuku-Biz（フクビズ）】

【成果】

- 少子化への対応として，結婚・妊娠・出産への支援や子育て支援の充実，家庭と仕事の調和への支援に取り組み，自然減の抑制を図りました。
- 若年者の就職支援などに取り組むとともに，本市の暮らしにおける魅力や移住のための情報などを効果的に発信することにより，社会減の抑制を図りました。
- 人口減少抑制の基盤づくりとして，中小企業イノベーションの推進や人材育成，第一次産業の活性化に向けた取組が進んでいます。

連携中枢都市を核とする新たな広域連携(決算額:191,874千円)

(うち、再掲分 10,925千円)

担当課：企画財政局企画政策部企画政策課
経済環境局経済部産業振興課

ほか

【概要】

全国的に急速な人口減少が進行する中、今後、単独の自治体で全ての行政サービスを担うことが困難になると予想されます。備後圏域6市2町（福山市、三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町、笠岡市、井原市）のそれぞれの独自性を生かした広域連携を産学金官民が協働して推進することで、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって発展し続ける圏域づくりに取り組みました。

【2016年度（平成28年度）に取り組んだこと】

1 圏域全体の経済成長のけん引

○圏域全体の産業振興の仕組みづくり

- ・ものづくり大学の創設 4/27開校 総参加者数16,284人
- ・福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz（フクビズ）の設置・運営
12/6開設 相談件数367件（～3/31時点）

○中小企業事業者などへの支援

- ・首都圏でのデニム関連イベントなどによるPR活動、動画の作成

○第一次産業の活性化

- ・首都圏におけるびんご産品販路開拓に向けた支援 12産品
- ・備後ワイン・リキュール特区説明会、BINGOワインアカデミーの開催
特区説明会 参加者54人、BINGOワインアカデミー 参加者43人
- ・貸切ワイン列車の実施（井原鉄道） 参加者43人
- ・地魚ブランド「備後フィッシュ（25種）」、ロゴマーク・キャッチコピーの公表
- ・備後フィッシュフェスの開催 来場者約3,000人

○戦略的な観光振興

- ・圏域の観光周遊コースを漫画で紹介する多言語パンフレット・マップの作成・配布
各市町の観光施設、JR、空港などで配布



【ものづくり大学】



【福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz（フクビズ）】



【BINGOワインアカデミー】

【ワイン列車】



【備後フィッシュロゴ】



【備後フィッシュフェス】 5

2 高次の都市機能の集積・強化

○高度医療の充実や強化

- ・看護職員再就職支援セミナーの開催 参加者18人

○高等教育機能の充実や強化

- ・6大学連携講座の開催（チラシ・ポスターによる情報発信）
- ・グローバル人材育成事業 講義参加者48人 海外現地研修（タイ）参加者19人

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

○医療や福祉サービスの充実

- ・福山市民病院から圏域内病院への診療支援の実施
尾道市立市民病院（内科1人），府中市民病院（循環器内科1人）
神石高原町立病院（内科1人，外科1人），井原市民病院（循環器内科1人）
- ・備後圏域地域包括ケア資源マップの運用（4/1運用開始）
- ・こども発達支援センターの共同運営 延べ利用人数3,887人

○広域化による住民サービスの向上

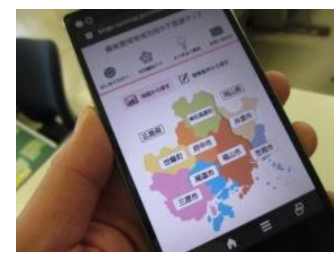
- ・防災士養成講座を兼ねた福山防災大学の開講 防災士試験合格者86人

○地域活性化の推進

- ・スタンプラリー「道の駅びんぐるドライブ」の実施（10/1～12/11）応募数2,929枚
- ・BINGOフェスティバルの開催
（7/2，3福山市開催 来場者31,000人，12/23東京開催 来場者3,000人）

○定住促進

- ・びんご定住フェアの開催（12/23東京開催） 来場者32組44人
- ・移住お試しツアーの開催（3/4，5開催）参加者20人



【地域包括ケア資源マップ】



【BINGOフェスティバル】



【びんご定住フェア】



【移住お試しツアー】

【成果】

- 圏域の産業支援機関「福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz（フクビズ）」の設置により，圏域事業者の「稼ぐ力」の向上につながっています。
- デニムやぶどうなどの圏域共通の地域資源を磨き上げることで，圏域の魅力向上につながっています。
- グローバル人材育成事業などにより，圏域の発展を支える人材の育成につながっています。
- びんご定住フェアやびんご移住お試しツアーなど，首都圏在住者に圏域の暮らしを発信することで，移住促進につながっています。

協働の更なる深化(決算額:123,113千円)

(うち、再掲分 71,776千円)

担当課：市民局まちづくり推進部まちづくり総務課
協働のまちづくり課 ほか

【概要】

市民一人ひとりが各地域で「まちづくりの主演」として、協力し合い、いきいきと活躍できるまちの実現に向け、まちづくりを担う多様な主体が連携した、協働のまちづくりを推進しました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○「仕組みづくり」

- ・「まちづくり人財バンク」の創設準備(2017年(平成29年)4月3日募集開始)
- ・(仮称)水呑交流館新築工事設計など

○「人づくり」

- ・ふくやま人財大学の開講
まちづくり大学、ばら大学、防災大学など
受講者数 延べ2,141人

○「活躍の場づくり」

- ・市民協働による松永はきもの資料館の運営
実施イベント：開館1周年記念事業、新春干支展 酉 など

【成果】

- 1日体験事業の実施により、専門人財の活躍で地域課題を解決する新たな仕組み「まちづくり人財バンク」の理解と人材登録につなぐことができました。
- ふくやま人財大学を開講し、教養コース、安心安全コース、環境コース、子育て応援コースの中で、「まちづくりの担い手」を育成しました。
- 地域・大学・行政が松永はきもの資料館の運営を行うなど、地域資源を生かしたまちづくりが進んでいます。



【(仮称)水呑交流館完成イメージ】



【1日体験事業(まちサポ「プロボノ」1DAYチャレンジ)】



【防災大学】

世界に誇れる「ばらのまち福山」の実現(決算額:88,389千円)

(うち、再掲分 12,488千円)

担当課：保健福祉局長寿社会応援部高齢者支援課
市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課
建設局都市部公園緑地課

【概要】

福山市ばらのまち条例の制定を受けて、これまでの取組をさらに充実させるとともに、ばらのまちづくりの取組から生まれたローズマインド（思いやり 優しさ 助け合いの心）を福山の文化として根付かせ、世界に誇れる「ばらのまち福山」をめざす取組を進めました。

【2016年度（平成28年度）に取り組んだこと】

○ローズマインドを福山の文化として定着

- ・小中学校でのふるさと学習実施
- ・ばらの日結婚祝福事業（5月21日に婚姻届を出した者へばらの花束を贈呈）
ばらの花束贈呈件数 10件

○ばらが咲き誇るまちの推進

- ・ばら関連商品の開発
株式会社資生堂、公益社団法人福山観光コンベンション協会と共同で開発した、
福山オードパルファムシリーズ 4品目

○100万本のばらのまちづくりの推進

- ・福山ばら大学 受講者数 50人
- ・無料ばら苗配布 10,728株
- ・記念ばら苗配布 新築記念617件 新入学記念4,420件 新生児誕生記念1,198件
- ・協働のばら花壇の整備 13箇所

【成果】

- 市民や市民団体などが一丸となってめざしてきた「100万本のばらのまち」の達成により、ローズマインドが福山の文化として定着することにつながっています。
- ばらの日にばらを贈る習慣を広めるなど、ばらに込められた思いや願いが次の世代に伝えられています。



【ばらの日結婚祝福事業】



【福山ばら大学】

福山駅周辺の中心市街地の魅力の創出(決算額:44,115千円)

(うち、再掲分 18,958千円)

【概要】

備後都市圏の玄関口にふさわしい賑わいのある交流拠点の形成のため、若者が挑戦できるまちづくりや、中心市街地の賑わい創出に取り組みました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○ひと【人づくり】

- ・商店街の活力向上

商店街空き店舗を活用した新規出店支援 4件

- ・地域資源の発信

備後圏域PR事業～BINGOフェスティバル～の開催

福山市開催 来場者数 約31,000人, 東京都開催 来場者数 約3,000人

○こと【賑わいづくり】

- ・外国人観光客受入れ環境の整備

福寿会館で行う福山らしい和文化体験「Experience FUKUYAMA」の実施
筍(こと), 書道, 能などの体験メニューの提供, 情報発信

- ・歩いて楽しめるまちづくり(※一部再掲)

えーほんdeまち歩き, うずみフェスタなどの開催

○もの【空間づくり】

- ・エフピコRiMの魅力創出(3周年祭「ふくフェス」の開催など)

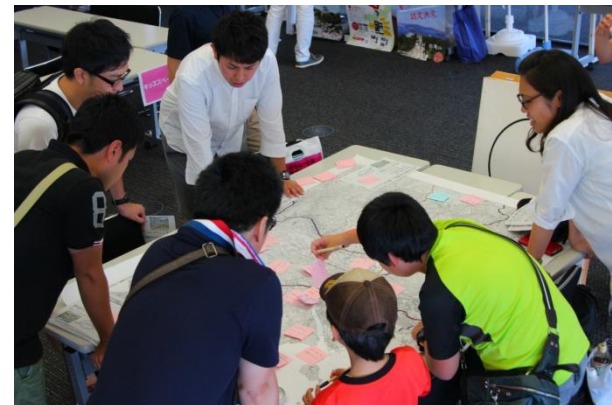
- ・ばら公園のリニューアル(※再掲)

【成果】

○若者等による商店街への出店支援を行うなど、若者が挑戦でき、活力あるまちづくりの実現に向けた取組が進んでいます。

○「えーほんdeまち歩き」や「うずみフェスタ」などのイベントを開催することで、まちなかの回遊性の向上や、中心市街地の賑わいの創出につながっています。

担当課：経済環境局経済部産業振興課
文化観光振興部観光課
企画財政局企画政策部企画政策課
ほか



【BINGOフェスティバル
若者が未来を考えるワークショップ】



【えーほんdeまち歩きの開催】

自然と環境にやさしいまち(決算額:170,272千円)

(うち、再掲分 8,121千円)

担当課：経済環境局農林水産部農林水産課
地産地消推進課
環境部環境啓発課
ほか

【概要】

農山村地域の活性化や地産地消を進めることで、第一次産業の活性化を図るとともに、自然共生社会・循環型社会及び低炭素社会の構築に向け、市民・事業者・行政が一体となり、自然と環境にやさしい取組を推進しました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○里山里地の再生と保全

- ・里山里地地域の協働保全活動の推進

6地域(赤坂町, 山野町, 山手町・津之郷町, 内海町, 熊野町, 田尻町)において草刈り, 竹の伐採などの整備作業や野菜の収穫, イベント開催等の里山里地の活用

- ・里山里地協力隊の活動支援

登録者数283人 活動数62回 参加者延人数569人

○地産地消の推進

- ・女性農業者の育成

就農セミナー(参加者数67人), バスツアー(参加者数26人), 農業体験(参加者数2人)の実施など

○環境への配慮

- ・リサイクルプラザ館外に遊びの中で発電体験などができる大型学習設備の整備
- ・各環境センターなどで取り組んできた紙資源の拠点回収を充実

【成果】

○地域団体と里山里地協力隊との協働活動により、農山村地域の再生と活性化を図るとともに、持続可能な地域づくりを推進しました。

○女性農業者を確保・育成し、特色と活力ある農業の構築に向けた取組を進めました。

○幅広い世代に楽しみながら環境への理解が深まる場として、リサイクルプラザ館内外を整備したことにより、親子連れなどの利用者が増加しました。



【里山里地地域の協働保全活動】



【リサイクルプラザ館外の大型学習設備】

いつまでも健康に過ごせるまち(決算額:167,466千円)

(うち、再掲分 23,731千円)

担当課：保健福祉局長寿社会応援部高齢者支援課
保健部健康推進課 成人健診課 ほか

【概要】

「食育の推進」「健康増進」「介護予防・認知症施策等の推進」の視点から、「健康寿命の延伸」が実現できるよう、市民や行政、関係団体などが一体となって取り組むことにより、「いつまでも健康に過ごせるまち」をめざしました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○生活習慣の改善

- ・健康教育などの実施

健康に関する正しい知識を広めるための健康教室 434回、参加者8,497人

- ・地域の魅力を探るウォーキングの実施 ウォーキング大会実施学区58学区

○生活習慣病の予防・重症化予防

- ・特定健診未受診者に対して、電話勧奨を実施 34,992件

○食からの健康づくり

- ・適正体重や共食、朝食の大切さの啓発

地産地消に関する試食会での啓発 7回、参加者1,110人

○認知症施策の推進

- ・認知症初期集中支援チームによる支援 支援チーム数5チーム、訪問支援対象57人
- ・認知症地域支援推進員による相談 推進員配置数5人、相談対応件数2,134件

【成果】

- 健康教育やウォーキングを実施することで、生活習慣の改善に向けた意識の向上につながりました。
- 各種イベントにおいて適正体重や共食、朝食の大切さを啓発することで、食育の理解向上につながっています。
- 認知症に関する相談を通じて、市民の不安や負担を軽減しています。



【健康教室】



【試食会における健康啓発】

次代を担う人材育成(決算額:3,607,187千円)

担当課：保健福祉局児童部ネウボラ推進課
市民局まちづくり推進部青少年課
教育委員会学校教育部指導課 ほか

【概要】

未来を担う人づくりを進めるため、学校・家庭・地域、NPOなどの民間事業者、行政が信頼と協働のもと、児童生徒一人ひとりの素晴らしさや可能性・能力を尊重し、引き出すとともに、創造性と思いやりを育てる教育・育成支援に取り組みました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○持続発展教育(ESD)の推進

・ESDを実践するユネスコスクールへの加盟 加盟 2校, 申請中 11校

○学校教育環境の整備

・中学校給食の完全実施に向けた実施検証 2校(加茂中学校, 駅家中学校)

○地域で学習できる環境づくり

・ひとり親家庭学習支援事業 参加者 40人

○教育を受ける機会の提供

・福山市青少年修学応援奨学金 利用人数 11人

○市政への関心の向上

・福山市子ども議会の開催 子ども議員 40人

・福山市高校生議会の開催 高校生議員 40人

○スポーツ振興

・スポーツ競技力向上事業

オリンピックによる柔道教室 児童・生徒 100人



【中学校給食】



【子ども議会】

【成果】

○「福山100NEN教育」に取り組むことにより、子どもの課題発見・解決力、粘り強さ、コミュニケーション能力、思いやりの心などが育まれています。

○子ども議会や高校生議会を通じ、市政に対する提案を行うことで、地域社会や学校生活などへの関心や郷土に対する愛着心の醸成につながりました。

歴史文化の継承(決算額:90,491千円)

担当課：教育委員会管理部文化財課

【概要】

鞆町伝統的建造物群保存地区において、建造物等の保存整備を重点的に推進し、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を目標に歴史的景観の保全に取り組みました。

また、本市における多彩で魅力ある文化財を活用するため、日本遺産の認定に向けて取り組みました。

【2016年度（平成28年度）に取り組んだこと】

○鞆地区町並み保存

- ・町並み保存事業費補助

修理 14件

- ・鞆町町並み保存拠点施設整備事業

老朽化施設の解体工事

○福山地域の日本遺産推進事業

- ・日本遺産推進事業の基本となる歴史文化基本構想の策定に向けた文化財調査

【成果】

- 市単独の補助事業により、貴重な文化財である鞆の町並みを守っています。

(2016年度（平成28年度）までに91件の事業を実施)

- 文化財の調査により、保存整備の状況や歴史背景など、本市の歴史文化の特徴を把握し、歴史文化基本構想の基礎としました。



【鞆の町並み保存（修理前）】



【鞆の町並み保存（修理後）】

鞆地区まちづくりの推進(決算額:493,512千円)

(うち、再掲分 87,646千円)

担当課：建設局都市部都市計画課
総務局総務部総務課
教育委員会管理部文化財課 ほか

【概要】

鞆地区の再生・活性化に向け、歴史や文化と地域社会が調和し、安全で快適な生活環境と活力ある地域社会の構築を図るため、地域との協働によるまちづくりビジョンの策定や、地域の交流拠点施設となる鞆支所・鞆公民館の再整備などに取り組みました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○鞆地区まちづくりビジョン策定

- ・鞆まちづくりビジョンワークショップの開催 5回
- ・鞆まちづくりビジョン基本方針(案)作成

○鞆支所・鞆公民館建設事業

- ・地域の交流拠点施設となる鞆支所・鞆公民館の再整備

○耐震性貯水槽整備事業

- ・鞆町鞆地内 1基60㎡

○公共下水道整備事業

- ・汚水管整備 延長 240.39m

○鞆地区町並み保存(※再掲)

【成果】

- 地域住民と共に将来を見据えたまちづくりビジョンの基本方針(案)を作成するなど、鞆地区の再生に向けた機運が醸成されています。
- 鞆支所・鞆公民館の再整備や耐震性貯水槽の整備など、安全で快適な生活環境を確保するとともに、活力ある地域社会の構築につながっています。



【鞆まちづくりビジョンワークショップ】



【鞆支所・鞆公民館】

都市ブランド戦略の推進(決算額:41,167千円)

(うち、再掲分 5,500千円)

担当課：市長公室情報発信課
経済環境局経済部産業振興課
文化観光振興部文化振興課

【概要】

都市ブランド戦略を推進し、都市の魅力や価値を高めることにより、市民の福山に対する誇りと愛着を深めるとともに、「行ってみたい」「住んでみたい」「住み続けたい」と思われる創造性あふれるまち（クリエイティブなまち）をめざす取組を実施しました。

【2016年度（平成28年度）に取り組んだこと】

○都市ブランド戦略の推進

- ・第2回福山ブランド認定品、登録活動の選定
認定品11件（生姜ごはんの素など）、登録活動2件（鞆の浦史跡めぐりガイドなど）
- ・福山の地域資源を活用した製品などの開発支援
提案件数13件、補助件数13件（デニムを使った小物雑貨の開発 など）
- ・福山ブランド認定品の販路開拓等支援
申請件数10件、補助件数10件（㈱MIYUKI、㈱虎屋本舗 など）

○「福山らしさ」の発信（※一部再掲）

- ・福山うずみフェスタ2016の開催
来場者数：約22,000人（福山城公園、ふくやま美術館前、福寿会館で開催）
- ・島田荘司選 第9回ばらのまち福山ミステリー文学新人賞の選定
応募数：日本全国や海外から105点

【成果】

- 福山ブランド認定・登録制度により、福山らしい製品やまちづくり活動の発掘・情報発信ができ、市民の誇りと愛着の向上につながっています。
- 福山うずみフェスタ2016、福山ミステリー文学新人賞などの取組を通じて、福山の知名度や魅力の向上につながっています。



【第2回福山ブランド授賞式】



【ばらのまち福山ミステリー文学新人賞
第9回受賞作発表記者会見】

戦略的な観光振興(決算額:17,810千円)

(うち、再掲分 15,912千円)

【概要】

J R福山駅に近接する福寿会館を活用して、福山らしい和文化などを体験できる観光メニューを提供し、外国人観光客の誘致に取り組みました。

また、福山の観光資源を多言語で魅力的に情報発信することで、本市に来訪する動機づけを行うとともに、海外における福山の知名度向上をめざしました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○外国人観光客受入れ環境の整備(※再掲)

- ・福寿会館で行う福山らしい和文化体験「Experience FUKUYAMA」の実施
箏(こと), 書道, 能などの体験メニューの提供, 情報発信

○多言語での観光情報の発信

- ・5言語に対応した福山市観光アプリ「びんGO!福山」の開発(※再掲)
2017年(平成29年)3月22日配信開始
対応言語:日本語, 英語, 中国語(簡体字, 繁体字), 韓国語
- ・鞆の浦の多言語観光パンフレットなどを作成
対応言語:英語, 中国語(簡体字, 繁体字), 韓国語, フランス語

【成果】

- 福寿会館を活用した取組やパンフレットの多言語化などにより、外国人観光客の増加につながっています(2015年(平成27年)60千人→2016年(平成28年)74千人(対前年14千人増))。

担当課：経済環境局文化観光振興部観光課



【福寿会館で行う福山らしい和文化体験】



【鞆の浦の観光パンフレット】

総合体育館等の整備(決算額:380,777千円)

担当課：企画財政局企画政策部企画政策課
市民局まちづくり推進部スポーツ振興課 ほか

【概要】

福山市営競馬場跡地が、本市の将来の発展の礎となるとともに、市民にとって希望ある未来と心安らぐ豊かな暮らしが実感できる利活用に向けて、競馬場跡地利活用基本計画に基づき整備する施設などの具体化に取り組みました。

【2016年度（平成28年度）に取り組んだこと】

- 総合体育館建設の実施設計
- 公園整備の実施設計
- 全体基盤（雨水排水など）の測量・設計
- 福山市営競馬場スタンド解体工事

<総合体育館・公園の整備スケジュール>

2015年度（平成27年度）～2016年度（平成28年度）

施設整備に向けた計画・設計

2017年度（平成29年度）～2019年度（平成31年度）

工事

2019年度（平成31年度）頃～

総合体育館、公園などの順次供用開始

【成果】

- 2019年度（平成31年度）の供用開始に向け、総合体育館の実施設計などを着実に実施しました。



【ゾーニング計画】

やすらぎゾーン

水と緑の環境を生かした市民が誇れる魅力的な公園・広場・緑地空間を整備

スポーツ・健康ゾーン

市民が幅広く、気軽にスポーツ・健康づくりを楽しめる拠点として、老朽化した市体育館を建替え、全市的な位置付けの新たな総合体育館を整備

みらい創造ゾーン

次なる100年の福山の発展を見据え、人づくり・ものづくり・コトづくりにチャレンジする創造・交流の場づくりをめざす



【総合体育館完成イメージ】

産学官連携の推進(決算額:23,084千円)

担当課：企画財政局企画政策部企画政策課
市立大学事務局総務課 ほか

【概要】

産学官が経済、教育、福祉など幅広い分野で連携し、地場産業の活性化や地域社会に貢献できる人材育成などに取り組むことで地域社会の発展をめざしました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○大学との連携事業の実施(地域課題の解決)

- ・福山市立大学との共同調査・研究

都市内分権の持続可能な仕組みに関する調査研究(協働のまちづくりに関するアンケート調査・研究)、保幼小連携に関する研究(保幼小合同での研修会や避難訓練などの実施) など

- ・福山大学との包括協定に基づく取組

地元商品・特産品を使った商品開発(ばら酵母を活用したワイン研究・開発)、ものづくり大学における連携(IoTセミナーなどの実施) など

○産学官連携の推進

- ・企業と大学とのマッチングの充実(参加対象:備後圏域)

ビジネス交流フェア 参加事業所数 127社, 224人

- ・デジタルコンテンツ開発における連携

福山市観光アプリ「びんGO!福山」、福山市就職支援サイト「就活ふくやま」の開発

- ・地場産農産物を活用した新たな商品づくり

生のりを使った卵焼きなどの開発, 料理教室の開催

【成果】

○大学との連携事業において、大学が持つ専門知識を生かした地域活性化の取組が進んでいます。

○ビジネス交流フェアの開催やデジタルコンテンツの共同開発、地場産農作物を活用した商品開発など、産学官連携の充実・発展により、地場産業の活性化につながっています。



【福山市観光アプリ「びんGO!福山」】



【地場産農産物を活用した新たな商品づくり】

スマートIC(インターチェンジ)の整備(決算額:310,491千円)

担当課:建設局土木部幹線道路課

【概要】

山陽自動車道から中心市街地や主要観光施設などへのアクセス性を高めるとともに、交通の分散により福山東IC周辺における交通渋滞の緩和に努めるため、福山東ICと福山西ICの間に位置する福山SA(サービスエリア)へのスマートIC整備を進めました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○スマートIC本体整備事業

- ・スマートIC本体に関連する整備

西日本高速道路㈱との工事細目協定に基づく工事 など

○スマートICへのアクセスに関する整備

- ・アクセス道路確保のための市道整備

津之郷4号線改良工事

用地取得 など

【成果】

- スマートIC開通に向けた整備を着実に実施しました。

【(仮称)福山SAスマートIC完成イメージ】



【上り線】



【下り線】



【アクセス道路(津之郷4号線)整備状況】

活力とにぎわいあふれる港づくり(決算額:7,800千円)

【概要】

活力とにぎわいあふれる港づくりをめざし、福山港の利用促進による地域経済の活性化、雇用の創出、全国的な知名度の向上などに取り組みました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○「ふくやま港まつり2016」の実施

期間 11月5日～11月6日
場所 福山国際コンテナターミナル
内容 帆船「海王丸」の入港歓迎式典、ライトアップ など
来場者数 約30,500人

○クルーズ客船の誘致

寄港数 2回 乗降者数 計640人

○企業訪問(ポートセールス)の実施

訪問数 3社

○福山港開港50周年記念事業の実施

- ・記念式典、祝賀会の開催
- ・港湾セミナー、特別講演会の開催
- ・記念誌の発行
- ・小中学校を対象とした出前授業の実施 など

【成果】

○クルーズ客船(ぱしふいっくびいなす, にっぽん丸)が寄港し、多くの人でにぎわうなど、福山港の全国的な知名度の向上や利用促進につながっています。

担当課：建設局土木部港湾河川課



【ふくやま港まつり】



【クルーズ客船】

消防・救急体制の整備(決算額:205,095千円)

担当課：消防局総務部総務課

【概要】

大規模地震や集中豪雨など、複雑多様化する各種災害に適切に対応し、地域住民の安心・安全を確保するため、防災拠点施設として西消防署の庁舎改築や最新鋭の機能を有する消防車両を整備するなど、災害対応力の強化に努めました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○西消防署改築事業

- ・実施設計など

事業期間：2016年度(平成28年度)～2019年度(平成31年度)

○消防車両更新整備事業

- ・老朽化した車両を最新装備の車両に更新整備

高規格救急自動車	1台
化学消防ポンプ自動車	1台
消防ポンプ自動車	3台
現場指揮広報車	1台

【成果】

- 消防庁舎の改築を行うことで、災害時の防災拠点施設としての機能を向上します。
- 最新鋭の機能を装備した消防車両を更新整備することで、様々な災害に対応できる体制を強化しました。



【西消防署新庁舎完成イメージ】



【高規格救急自動車】



【化学消防ポンプ自動車】

良質で効率的な医療提供体制の確立(決算額:6, 201千円) (うち、再掲分 101千円)

担当課：市民病院経営企画課

【概要】

大学病院に匹敵する診療・教育研修体制の確立をめざしました。また、圏域全体の医療水準の向上を牽引する取組を進めました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○「患者中心医療」の推進

- ・紹介率・逆紹介率の向上や地域の医療機関との連携強化を目的とした医療支援センターの設置 2016年(平成28年)4月1日
- ・患者向け情報発信の強化
市民公開講座の開催 4回、参加者数 269人

○医療スタッフの確保・育成

- ・教育・研修の拠点施設として、セミナーなど研修会の開催
オープンカンファレンス 11回、参加者数 1,096人
医学生向け病院説明会 6回、参加者数 211人
- ・ICTの活用
看護部におけるeラーニングの実施

○圏域内公立病院等連携事業(※再掲)

- ・医療スタッフの合同研修の実施
「感染管理研修会」(開催回数 4回、参加者数 198人)など

【成果】

- 診療・教育研修体制を確立することで、国から大学病院本院に比肩する高度な機能を有する医療機関として、県東部で初めて「DPCⅡ群病院」に指定されました。
- 相談窓口の一本化を目的とした医療支援センターの設置や患者向けに公開講座を開催することで、「患者中心医療」を推進しました。



【市民公開講座】



【医学生向け病院説明会】

防犯環境の整備(決算額:25,579千円)

担当課：市民局市民部生活安全推進課

【概要】

安心・安全なまちづくりを進める中で、街頭での犯罪の発生を抑止するため、自治会などによる防犯カメラ設置を支援しました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○自治会や事業者に対する設置補助

- ・設置補助台数 39台
 - 地域への補助台数 36台(地域の公園, 交差点周辺など)
 - 事業者への補助台数 3台(事業所周辺など)

【成果】

- 自治会などにおける地域への防犯カメラの設置を支援することで、犯罪の発生を抑止するなど、住民の安心・安全の確保につながりました。
防犯カメラの設置 228台(2014年度(平成26年度)～2016年度(平成28年度))



【防犯カメラ】



【防犯カメラ設置例】



【防犯カメラ設置例】

歩道・自転車走行空間の整備(決算額:292,435千円)

担当課：建設局土木部幹線道路課
道路整備課
教育委員会学校教育部学校保健課

【概要】

誰もが安心・安全で快適に暮らせるまちづくりをめざし、子どもや高齢者、障がいのある人などに配慮した安全性が高い歩道の整備や、自転車と歩行者双方が安心・安全に通行できるよう自転車走行空間の整備を行いました。

【2016年度（平成28年度）に取り組んだこと】

○歩道整備

- ・歩道の拡幅，バリアフリー化
山手東手城幹線（山手工区）外4路線 整備延長 L=540m

○通学路の安全対策

- ・学校，警察，地元などとの合同点検の実施
点検箇所 393か所
- ・区画線設置，防護柵設置など

○自転車走行空間整備

- ・車道への自転車通行ゾーンの表示，歩道への通行位置の明示
御幸地吹幹線外1路線 整備延長 L=780m



【歩道のバリアフリー化】



【自転車走行空間の整備】

【成果】

○歩行者と自転車の利便性・安全性の向上や通学時の児童生徒の安全確保につながっています。

空家等対策(決算額:10,620千円)

担当課：建設局建築部住宅課

【概要】

良好な環境で快適に暮らせるまちをめざし、空家等に係るアンケート調査や、特に危険度が高い空家等に対し措置を実施しました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○空家等アンケート事業

- ・空家等の所有者等に対するアンケート調査
対象 3,781人 回答 1,985件(回答率 52.5%)
空家数 4,466件(倒壊の危険性がある空家 34.6%)

○空家等2次調査事業

- ・危険度が高い空家等に対する立入調査 44件

○緊急安全措置

- ・著しく危険度が高い空家等に対する緊急安全措置 1件

○協議会の開催

- ・福山市空家等対策協議会の開催(福山市空家等対策計画に係る意見交換など)
開催回数 2回



【空家のイメージ】

出典：(一財)消防科学総合センター

【成果】

- 空家等に対するアンケート及び立入調査による現状把握を行ったことで、空家等対策の適切な推進につながりました。
- 著しく危険度が高い空家等に対する措置により、安心・安全な生活環境の構築につながりました。



【福山市空家等対策協議会】

上下水道施設の耐震化(決算額:274,840千円)

担当課：上下水道局工務部下水道施設課
施設部水づくり課 施設整備課

【概要】

地震などの災害時でもライフラインとしての機能を維持するため、上下水道施設の耐震化に取り組みました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○下水道管渠の耐震化(下水道)

事業期間：2007年度(平成19年度)～

- ・防災拠点(市役所本庁舎)や広域避難場所(福山城公園)から流域下水道幹線まで、管渠の接続部の離脱やマンホールからの抜出防止工事の実施

延長147m

○基幹配水池等の耐震補強(水道, 工業用水道)

事業期間：2016年度(平成28年度)～

- ・久松台配水池(水道)・蔵王配水池(工業用水道)の耐震補強工事の実施
- ・中津原浄水場沈澱池(工業用水道)の耐震補強工事の実施

○水呑ポンプ場の耐震補強(下水道)

事業期間：2016年度(平成28年度)～2019年度(平成31年度)

- ・ポンプ棟の耐震補強工事の実施

○マンホールトイレ(災害時仮設トイレ)の整備(下水道)

事業期間：2013年度(平成25年度)～

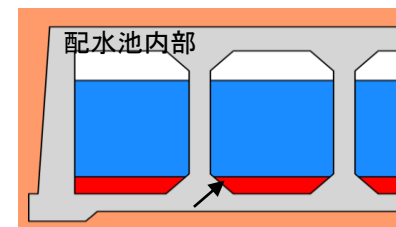
- ・広域避難場所(中央公園) 8基(設計)

【成果】

- 災害に強い上下水道施設を計画的・効率的に整備することにより、災害発生時の被害の抑制につながっています。



【下水道管渠耐震化工事(施工後)】



(工事概要)
既存配水池底版に、
コンクリートを打設
し補強

増しコンクリート



(工事の様子)



【久松台配水池耐震補強工事】

市街地の浸水対策(決算額:333,729千円)

担当課：上下水道局工務部下水道施設課

【概要】

集中豪雨などによる中心市街地の都市型浸水被害を軽減するため、中央2号・中央5号幹線の整備に取り組みました。

【2016年度(平成28年度)に取り組んだこと】

○中央2号・中央5号幹線築造工事

事業期間：2014年度(平成26年度)～2017年度(平成29年度)

西町・本庄地区の浸水対策として増補管の築造工事の実施

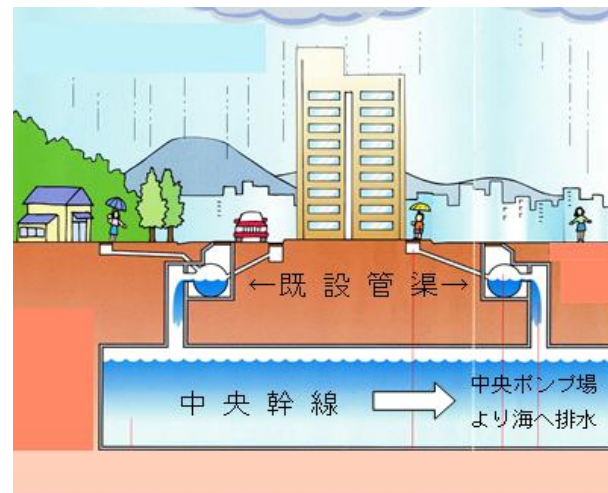
延長 1.3km

口径 2,800mm

※増補管…既設管渠から越流した雨水を集水し、流末のポンプ場へ送水する管渠

【成果】

○中央幹線(増補管)を延伸することで、西町・本庄地区の都市型浸水被害が軽減されます。



【中央幹線のイメージ】



【中央2号・中央5号幹線築造工事(見学会)】